

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス				
教科目名	防災工学	担当教員	犬飼利嗣	
学年学科	5 年 建築学科	前期	必修	1 単位(学修)
学習・教育目標	(D-3 安全系) 100%		JABEE 基準 1 (1) : (d)	
授業の目標と期待される効果： 合理的で安全性の高い建築物を計画する上で必要となる、建築防災計画の基本的な考え方を理解する。また、用途別防災計画の設計例や、避難安全検証および耐火性能検証の実施例から、合理的で安全性が高く、かつ機能的な建築物を提供できるよう理解を深める。 これらにより、建築計画を立案する上で不可欠となる、建築防災工学に関する基礎的知識を習得する。		成績評価の方法： 課題 100 点×40%+期末試験 100 点×60%とし、計 100 点に対する得点率 (%) で評価する。 達成度評価の基準： 課題および期末試験で以下の項目について評価し、総合して 6 割以上の正解率に達していること。 ①建築防災計画の考え方 ②建築防災計画の組立て方 ③用途別防災計画のまとめ方 ④特殊防排煙システムの組立て方 ⑤避難安全の検証方法 ⑥耐火性能の検証方法		
授業の進め方とアドバイス： 授業は、教科書と板書を中心に行うので、各自学習ノートを充実させること。また、参考となる資料を適宜配布するので、自宅学習を充実させ復習に務めること。				
教科書および参考書： 参考書：プリント配布 (適宜)				
授業の概要と予定：前期		教室外学修	AL のレベル	
第 1 回：建築防災と性能規定		建築防災計画の概略を理解する		
第 2 回：建築防災計画の考え方				
第 3 回：建築防災計画の組立て方 (1) 出火防止、発見・通報		出火防止計画、発見・通報計画を理解する		
第 4 回：建築防災計画の組立て方 (2) 拡大防止		拡大防止計画を理解する		
第 5 回：建築防災計画の組立て方 (2) 初期消火、煙制御		初期消火計画、煙制御計画を理解する		
第 6 回：建築防災計画の組立て方 (2) 避難		避難計画を理解する		
第 7 回：建築防災計画の組立て方 (3) 耐火、消防・救助		耐火構造、消防・救助計画を理解する		
第 8 回：建築防災計画の組立て方 (3) 管理運営		管理運営計画を理解する	C	
第 9 回：用途別防災計画 (1) 事務所ビル		事務所ビルの防災計画の概略を理解する		
第 10 回：用途別防災計画 (2) 大規模店舗		大規模店舗の防災計画の概略を理解する		
第 11 回：用途別防災計画 (3) 病院		病院の防災計画の概略を理解する		
第 12 回：特殊防排煙システム		特殊防排煙システムを理解する		
第 13 回：避難安全の検証		避難安全の検証方法を理解する		
第 14 回：耐火性能の検証		耐火性能の検証方法を理解する		
期末試験				
第 15 回：期末試験模範解答の解説および成績評価の説明、防災工学総論				

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	建築防災計画の考え方に関する課題を正確(8割以上)に解くことができる。	建築防災計画の考え方に関する課題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	建築防災計画の考え方に関する課題をほぼ正確に解くことができない。
②	建築防災計画の組立て方に関する課題を正確(8割以上)に解くことができる。	建築防災計画の組立て方に関する課題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	建築防災計画の組立て方に関する課題をほぼ正確に解くことができない。
③	用途別防災計画のまとめ方に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	用途別防災計画のまとめ方に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	用途別防災計画のまとめ方に関する問題をほぼ正確に解くことができない。
④	特殊防排煙システムの組立て方に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	特殊防排煙システムの組立て方に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	特殊防排煙システムの組立て方に関する問題をほぼ正確に解くことができない。
⑤	避難安全の検証方法に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	避難安全の検証方法に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	避難安全の検証方法に関する問題をほぼ正確に解くことができない。
⑥	耐火性能の検証方法に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	耐火性能の検証方法に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	耐火性能の検証方法に関する問題をほぼ正確に解くことができない。